

インドの独立運動

(イギリス)の植民地であったインドでは、大戦に協力する見返りとして(自治)を認めるという約束を、イギリスが無視しました。



非暴力

不服従

(ガンディー)

そこでインドは(ガンディー)の指導のもと、(自治)を求める抵抗運動が高まっていきました。

1921年、アメリカは、アジア・太平洋地域の日本の勢力拡大を抑えようと

ワシントン会議

を開きました。

① (日英同盟)を廃止... 代わりに(四か国)条約を締結しようとアメリカが提案した。(日本)(イギリス)(アメリカ)(フランス)
→ 名目だけの条約で実質的な同盟ではなかった。
日本とイギリスを引き離すことがアメリカの狙いでした

② (中国)の主権を尊重... (九か国)条約を結び、日本は(山東)省での利権を中国に返すことになった。
→ 中国進出に躊躇ったアメリカの意向。
今後中国への侵略は控え、ビジネス的な進出に切り替えよう的な

③ (海軍軍縮)条約により、各国の戦艦の保有率が決まりました。

米 : 英 : 日 : 仏 : 伊
5 : 5 : 3 : 1.75 : 1.75

→ 海軍の中では、これでは日本を守れないという意見多数。

この会議の首席全権を務めた海軍大臣(加藤友三郎)は、世界の大勢、日本の国益(財政)を判断し、5・5・3を受け入れました。